

## 1. はじめに

診療報酬や病床占床率は退院支援に大きく影響するものであり、支援方針を決める際の一つの指針となる。医療ソーシャルワーカー(以下 MSW)の倫理綱領には、クライアントの利益を最優先に考えることや、自らが属する組織・職場の基本的な使命や理念を認識し、最良の業務を遂行することが示されており、これらの価値が衝突し合うことによりジレンマを感じる場合がある。

今回、当院の MSW が診療報酬や占床率との兼ね合いから感じているジレンマと、それへの対処方法について整理したので報告する。

## 2. 研究方法

当院の MSW 5 名を対象に聞き取り調査を行い、共通したキーワードをカテゴリーに分類し、ジレンマの要因となる項目と、MSW が支援において重視している項目を整理し、ジレンマへの対処方法を分析する。

## 3. 結果・分析

退院支援において感じているジレンマを(1)ニーズの不一致によるジレンマ、(2)方向性の検討に時間を要するジレンマ、(3)チーム内で課題が共有できないジレンマの3つのカテゴリーに分類できた。

このような複合的なジレンマを抱えながら、MSW は「患者、家族が納得できる支援」を目指し、「患者、家族、チームとの共通理解」を重視して支援を展開することで、ジレンマを整理しながら対処していると考えた。

## 4. 考察

退院支援において、患者の最善の利益を担保する中で診療報酬や占床率への影響との兼ね合いをチームで共有することが難しく、ジレンマが生じると考える。MSW は患者、家族が納得できる支援を念頭に置き、チームとの共通理解のもと支援することで複合的なジレンマに対処していると考えた。

また、MSW は患者、家族の意向とチームの方針との間に差異がないか確認し、患者の課題がどこにあるのかを捉え、チームと共有しながらどのように支援していくべきか協議していくことが求められていると考えた。

### 【参考・引用文献】

川村隆彦.「現場での倫理的ジレンマの課題と対応」.『ソーシャルワーク研究』2016,42-3 167,p44～49

岡本民夫 他 .『ソーシャルワークの理論と実践—その循環的發展を目指して—』 .中央法規.2016